

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成24年2月9日(2012.2.9)

【公開番号】特開2011-236205(P2011-236205A)
 【公開日】平成23年11月24日(2011.11.24)
 【年通号数】公開・登録公報2011-047
 【出願番号】特願2011-88658(P2011-88658)
 【国際特許分類】

C 0 7 F 9/50 (2006.01)
 C 2 2 B 34/14 (2006.01)
 C 2 2 B 11/00 (2006.01)
 C 2 2 B 3/26 (2006.01)
 B 0 1 D 11/04 (2006.01)

【F I】

C 0 7 F 9/50 C S P
 C 2 2 B 34/14
 C 2 2 B 11/00 1 0 1
 C 2 2 B 3/00 J
 B 0 1 D 11/04 B

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月15日(2011.12.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0085

【補正方法】変更

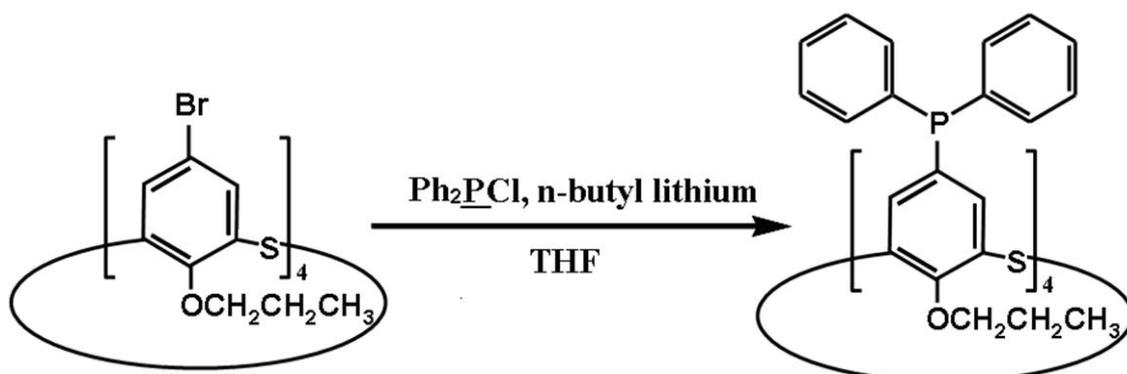
【補正の内容】

【0085】

(製造例6)

<環状フェノール硫化物誘導体(ジフェニルフォスフィノTC4Aプロピルエーテル)の合成>

【化9】



200 mL容のナス型フラスコに、製造例5で得られた環状フェノール硫化物誘導体(プロモTC4Aプロピルエーテル) 1.0 g (1.12 mmol)と、脱水処理を施したTHF 60 mLとを入れ、窒素気流下、-78℃まで冷却した後、n-ブチルリチウム(15%ヘキサン溶液) 4.0 mL (6.28 mmol)を添加し、1時間攪拌を行った。攪拌終了後、反応液中にテトラヒドロフラン(THF) 5 mLに溶解させたク

ロロジフェニルホスフィン ($\text{Ph}_2\text{P}_2\text{Cl}$) 2.0 g (9.06 mmol) を滴下した。滴下終了後、室温まで温度を上げ、2時間攪拌した。その後、溶媒を濃縮後、粗生成物を得た。粗生成物をシリカゲルカラムクロマトグラフィーにて精製し、減圧乾燥することで、目的物である白色粉末の環状フェノール硫化物誘導体 (ジフェニルフォスフィノTC4Aプロピルエーテル) を得た。収量は、105 mg であり、収率は、6.62% であった。